

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年4月3日時点)

➤ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への抵抗を継続するとともに今後の反転攻勢に向けた準備を進める一方、露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦や各地の非軍事施設に対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言22年9月21日)
: **死者約17万3360人**、戦車3615両、装甲車両6977両(「ウ」国防省3月31日)
: **死傷者約18万人**(クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)
「ウ」軍: **死者最大約1万3千人**(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)
: **死傷者推定10万人以上**(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: **死者8401人以上、負傷者1万4023人以上**(OHCHR3月27日)

パヴリユク「ウ」国防省第1次官は、**ポーランド国内における「ウ」軍の戦車部隊及び機械化歩兵部隊の訓練状況を視察**(3月27日)

- プーチン大統領は、露国営テレビの番組において、**ベラルーシ軍の戦術核運搬能力の構築を支援している旨及びベラルーシ国内に露の戦術核兵器貯蔵施設を整備中である旨**発言(3月25日)
- 露外務省は、核兵器に関するベラルーシとの協力について、両国が連合国家を形成しているため、他国の非難を受けるいわれはない旨主張(3月27日)

- シネフボウ・ハルキウ州知事は、3月30日深夜に露軍が州内の**インフラ施設や住宅に対しミサイルやUAVによる攻撃を加えた旨**発表(3月31日)



出典: レズニコウ国防相Facebookページ

- ノルウェー軍は、**レオパルド2戦車及び支援車両計8両を「ウ」に供与した旨**発表(3月20日)
- ショルツ独首相は、**同国がレオパルド2戦車18両を「ウ」に供与した旨**発表(3月27日)
- 英国政府は、同国内における**「ウ」軍人によるチャレンジャー2戦車の操縦訓練が完了した旨**発表(3月27日)

「ウ」軍参謀本部は、**露軍がハルキウ州クピャンスク及びドネツク州リマン、バフムート、アウジーイウカ等の各方面において引き続き攻勢に出ており、とりわけバフムートやアウジーイウカが戦闘の焦点となっている旨**発表(3月31日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域



国土地理院標準地図を加工 資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ISW等